

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
人間文化学部心理コミュニケーション学科	原田 明子	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

英語 A1,A2,A3,A4
英語表現法
英語圏の文化
専門演習

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

英語科目については、日常的なレベルでの基礎的な英語力を身に着けるよう努力し、それを通じて母国語のコミュニケーション能力も伸ばしてほしいと考える。
英語圏の文化、専門演習では、異文化や異なる時代の人々の経験を深く知るにより、物事を多角的に見る力を育ててほしいと考える。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

英語科目については、英語四技能を伸ばし、自分のことを簡単な言葉で表現できるようにすることを目指す。
英語圏の文化では、さまざまな資料を通じて異文化や過去の時代の様子を知り、人々の生活をたどることができるようにする。
専門演習では、一つの小説をめぐる内容を確認し、様々な観点から意見を述べることによって、深い理解を得られるようにする。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

英語科目については、クラスの習熟度によって程度は異なるが、自分で問題を解き学習に取り組む姿勢がみられるようになった。
専門演習、英語圏の文化では、新たな知見に対して受講者各自が自分で情報をまとめて説明したり、自分で考えたことを発表したりすることができるようになった。

【目標】(今後どうするか)

受講者が、英語、および日本語を読んだり書いたり、発表したりするコミュニケーション活動を通じて、より高いレベルで他者を理解し、自分自身を理解できるようになることを目指す。